

漁業の概要

海匝～九十九里地区までの九十九里浜では、広大な砂浜性海岸に生息するチョウセンハマグリなどの貝類を漁獲する貝桁網漁業(小型底びき網漁業の一種)や、ヒラメやマダイなど季節によって様々な魚種を漁獲する刺網漁業を中心に、しらうお船びき網漁業などの小型漁船漁業が営まれています。

貝桁網漁業は資源の効果的な利用と漁業経営の安定のため、複数の漁業者が乗り合いで操業し、水揚げを分配するプール制による共同操業を行っています。その他、出漁隻数や出漁日の制限などの資源管理に取り組んでおり、漁獲されたチョウセンハマグリは「九十九里地はまぐり」として千葉ブランド水産物に認定されています。

刺網漁業や船びき網漁業は各々が操業し、貝桁網漁業との兼業で行っていることが多いです。

対象魚種	①貝桁網:チョウセンハマグリ、ダンベイキサゴなど貝類 ②刺網:ヒラメ、マダイ、ホウボウ、ガザミ等 ③船びき網:イシカワシラウオ
漁船の規模	5トン未満の船内機船 ※刺網は10トン未満の船内機船
乗組員数	①貝桁網:1～2人が乗り合う ②刺網:3～4人 ③船びき網:2人
年間労働日数	240日(うち、貝桁網漁業80日、陸上作業含)
技術習得期間	(雇用型)貝桁網漁業:1年、その他漁業:2～3年程度 (独立型)10年



刺網漁業の操業

漁業収入モデル (乗組員として新規就業時)

月 給	18～25万円+歩合
賞 与	—
備 考	刺網漁業が主体

※漁師.jp求人情報及び漁業就業支援フェア資料より引用

※年、資源状況等によって変動することがあります。

各漁業の年間操業計画

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貝桁網	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
刺網		←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←
船びき網	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←

※操業期間の目安(月)を示す矢印。赤い矢印は主要な操業期間を示す。黒い矢印は補助的な操業期間を示す。

赤い矢印のラベル: ホウボウ (3月～5月), マダイ (3月～5月), ガザミ (7月～9月), イセエビ (8月～10月), ヒラメ (10月～12月)

1日の操業スケジュール例(刺網漁業)

▼漁業権区域外 ※漁業権区域内の場合、作業時間が短縮。

3:00	集合
3:30～8:00	出港・操業(網揚げ)
9:00～10:00	帰港・水揚げ作業
10:00～16:00	網作業(休憩含む)
16:00～17:00	出港・操業(網入れ)
17:00～	帰港・解散

就業と漁労作業

就業については、既存の漁業者に乗組員として雇用されることになります。

漁労作業としては、貝桁網漁業は親方と共に共同操業で貝桁の上げ下ろしや選別を行います。刺網漁業では、船長と共に刺網の投入(網入れ)、引き揚げ(網揚げ)を行い、刺網からの魚の取り外しや選別を行います。